

国際交流・海外留学

あなたのミライを探しに佐賀大学のキャンパスへ
そして、世界のキャンパスへ



異なる文化や価値観を持つ多様な人々と対話し、共感し、協働する機会に溢れています

◆ カルチャル エクスチェンジ ラウンジ

お昼休みの1時間に外国語で会話を楽しむ活動です。英語、韓国語、中国語、インドネシア語、タイ語のグループがあり、外国語や海外に興味のある日本人学生と留学生と一緒にディスカッションやゲームをしたり、それぞれの国の文化を紹介し合うなどの多言語での交流を行っています。



◆ 佐賀大学 Global Leaders



キャンパスで共に学び活動する留学生と日本人学生の垣根を無くし、文化や言語の違いを楽しみながら学生生活を充実させるために学生ならではのアイデアと機動力を活かして交流活動を企画・運営しています。語学力、異文化に関する知識、コミュニケーションスキルなど、学びの成果をキャンパスで実践・発揮しています。

◆ 留学生のサポーターから友達に



留学生との交流の機会はイベントだけではなく、留学生のチューターとして学習や生活のサポートを行ったり、日本語授業のボランティアをしたり、3週間のサマープログラムに参加する留学生のパディ(友達)になることもできます。日本に居ながらにして留学をしているような異文化体験が得られます。

佐賀大学に在籍する 留学生の出身国・地域

アジア

中国・台湾・韓国・インドネシア・マレーシア・ベトナム・タイ・カンボジア・ミャンマー・スリランカ・バングラデシュ

アフリカ

エジプト・チュニジア・モザンビーク・サントメプリンシペ・ナイジェリア・南スーダン・エチオピア・ガーナ・ルワンダ・南アフリカ

ヨーロッパ

フランス・フィンランド・ドイツ・リトニア

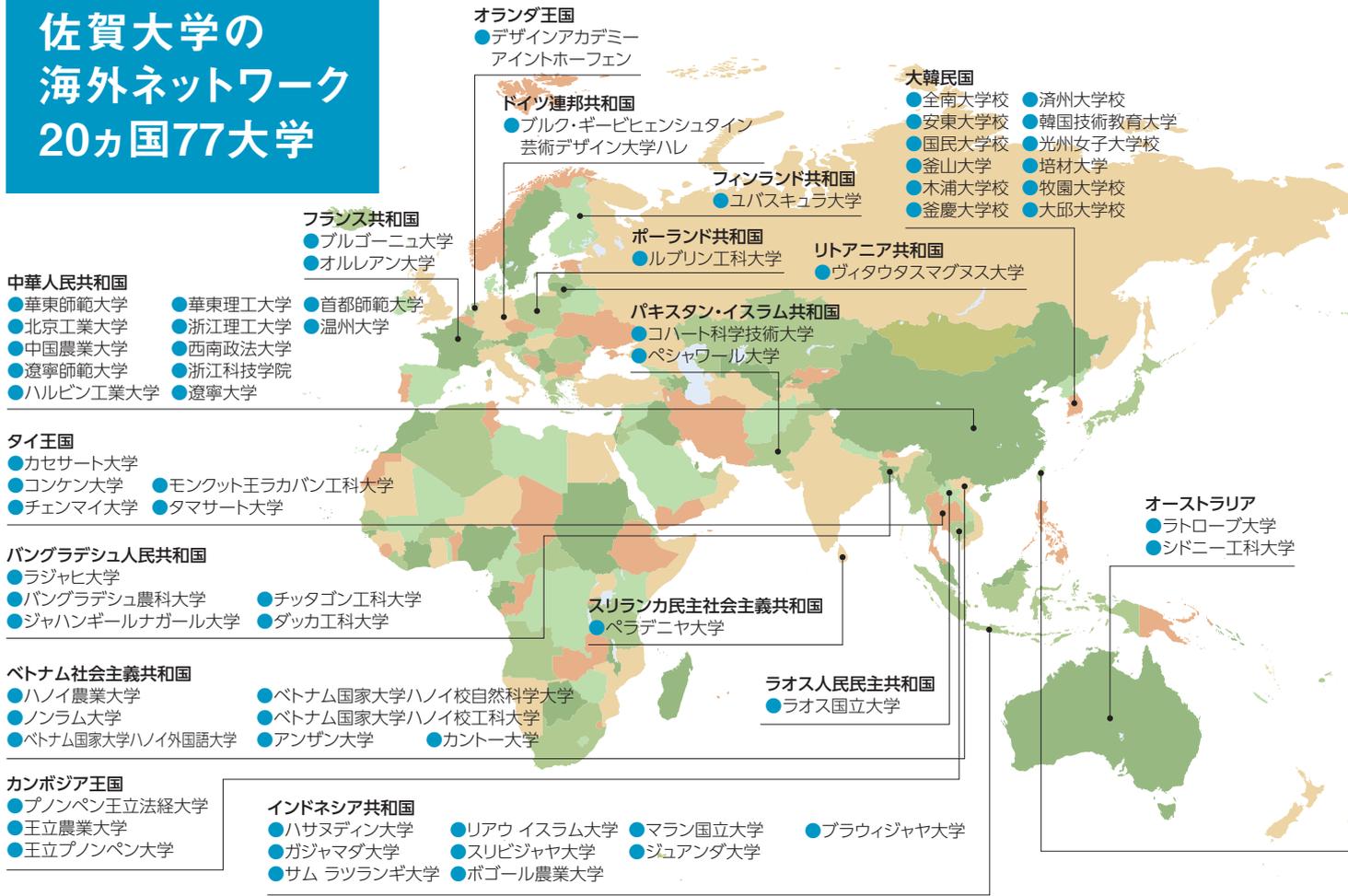
オセアニア

オーストラリア

計26ヶ国/地域

(2018年5月現在)

佐賀大学の海外ネットワーク 20カ国77大学



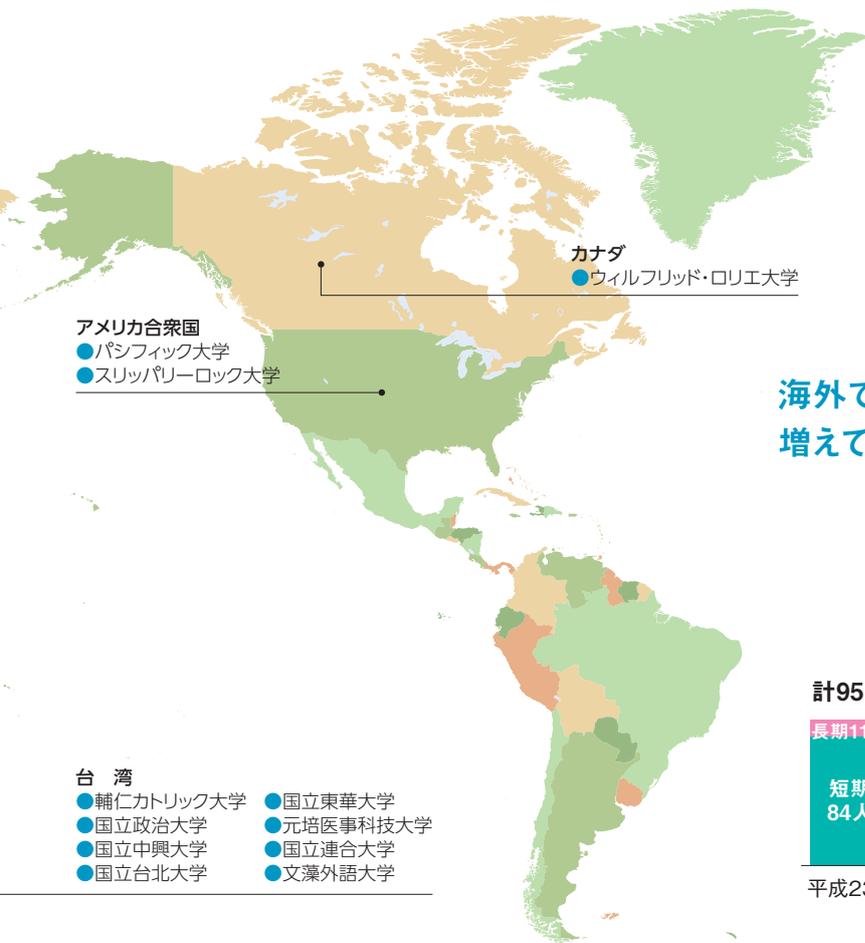
※大学間協定(学生交流)を結び協定校のみ表示

短期海外プログラム SAGA UNIVERSITY STUDY ABROAD PROGRAM (SUSAP)

長期休暇を利用した10日から1ヶ月程度の全学部の学生対象プログラムです。単なる語学研修ではなく、学生各々が持つ関心や伸ばしたいスキル、将来のビジョンに応じて選択できるよう多彩なプログラムがあります。海外の学生との協働プロジェクトや交流、海外で活躍する佐賀県出身者との意見交換など、短期間であっても海外で異なる文化や価値観に触れながら国際的な視野を育みます。

<p>大邱大学校プログラム (韓国) 3週間・約5万円 毎日4時間の韓国語授業の他、韓国の伝統工芸や歌謡、映画等の体験型学習を通して韓国文化を学ぶ。</p>	<p>東華大学プログラム (台湾) 4週間・約10万円 各々の専門分野の授業を英語で受講。現地学生との交流から台湾人の考え方、大学文化などを学ぶ。</p>	<p>浙江理工大学プログラム (中国) 4週間・奨学金により参加費免除 中国語を集中的に学習。未習者から上級者までのレベルの学生も参加可能。最終日は上海で日系企業の中国展開に関するセミナーに参加、佐賀県人会の方々と交流を行う。</p>	<p>釜慶大学プログラム (韓国) 2週間・10万円程度 佐賀大学から最も近い海外協定校。韓国語と韓国文化を学ぶプログラム。午前は韓国語授業、午後は韓国茶会、デコンドー、韓国伝統音楽、韓国料理などの文化体験に参加。</p>	<p>シドニー工科大学プログラム (オーストラリア) 5週間・約48万円 英語圏への留学に必要なアカデミックイングリッシュを身につけるコースに参加。シドニー工科大学で日本語を学ぶ学生がバディになり、放課後や週末を楽しむ。</p>
<p>中興大学プログラム (台湾) 3週間・約7万円 中国語授業や台湾社会・文化を学ぶ視察や体験活動に参加。中興大の海外協定校から集まる学生との交流を通して英語もブラッシュアップ。</p>	<p>香港中文大学学生交流プログラム (中国) 10日間・奨学金により参加費免除 香港中文大学の学生と毎日活動を共にし、授業聴講、視察、合宿などを通して香港の社会や政治、文化について学ぶ。1、2年生向け。</p>	<p>留学のための経済的支援が充実 交換留学をする佐賀大生の95%、短期海外研修に参加する96%が最大10万円の奨学金を受給しています。(H29年度)</p>		
<p>ガジャマダ大学プログラム (インドネシア) 3週間・約14万円 インドネシアの都市と村落の今を学ぶ。世界各地からの学生と英語による講義、視察、グループワーク、ホームステイなどに参加。ジャカルタでは活気溢れる街の様子を視察や佐賀県人会や佐賀大生との交流を行う。</p>	<p>フィールドスタディー in チェンマイプログラム (タイ) 2週間・約15万円 チェンマイ近郊で現地の活動に参加し、タイ社会や日本との関係を理解する。</p>			

※H29年度に国際交流推進センターが実施したプログラム。
※費用はプログラム参加費のみを表示。別途、現地の生活費がかかります。



海外で学び、経験する佐賀大生が増えています!



参加者の声



シドニー工科大学プログラム 2017年夏 東華大学プログラム 2018年春

理工学部 3年 **齊藤 健人**
(宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校出身)
◀ 齊藤さんは一番右

私がオーストラリアのシドニー工科大学(UTS)に留学した理由は「九州を離れて、世界を見たい」という好奇心と「自分を変えたい」という期待感が普通の大学生活を送りながら心のどこかにあったからです。UTSでは日本の英語の授業とは大きく異なり、英語の様々な技能を学びました。レポートの書き方やプレゼンテーションの仕方などを中心に「使える英語」を学びました。そして、私の好奇心と期待感を十分に満足させてくれたのがパディ、ホストファミリー、クラスメイト、現地での日本人などの多くの人との出会いです。彼ら、彼女らと生活し、意見交換をすることで私の価値観は大きく変わりました。

その後、台湾の東華大学にもSUSAPで留学しました。私を大きく変えてくれたUTSのパディが台湾人であったことから、台湾に興味を持ち台湾文化を学びたいと思ったからです。東華大学では、英語を使って私の専門科目に必要な微分積分学、線形代数学などの授業を履修しました。さらに台湾文化に触れる機会を増やし、ボランティア活動にも参加しました。二度の留学を経て私は自分の殻を自分で破り、大きく変わることができたと感じています。皆さんも自分を変えたい、語学力を向上させたい、海外に行きたいなどの自分の心の声に正直になり、ぜひ挑戦してみてください。

参加者の声



チェンマイプログラム 2018年春

医学部 2年 **岡澤 慶**
(福岡県立修猷館高校出身)
◀ 岡澤さんは左側

ボランティア活動、企業視察、小学校訪問、チェンマイ大学の講義への参加などSUSAPでは留学だからこそできる経験がたくさんある。その中でも海外旅行にはない最も大きな魅力の一つは、現地で同年代の友達がたくさんできることだと思う。タイで過ごしたこの二週間、私はタイ人の友達と様々な話をした。話の内容は、宗教観から好きな音楽の話、将来の夢の話まで多岐にわたる。そして一緒に時間を過ごす中で、タイ人の生活、人との接し方、価値観について自然と学ぶことができた。異文化というものが怖くなくなったと同時に、自分のことや日本について改めて考えるきっかけにもなった。先生方をはじめ、日本人の仲間たち、微笑みの国タイで出会った暖かい人々のおかげで私はこれまでの中で最も濃密な春休みを過ごすことができた。インターネットや本には載っていない、実際に行ったからこそその学びがある。忘れられない休みをぜひSUSAPで!



海外協定校への交換留学

佐賀大学の世界中に広がるネットワーク、学術交流協定校(部局間協定を含む)に最大1年間の交換留学が可能です。交換留学は在学期間として認められており、近年では1年間の交換留学をしても4年間で卒業する佐賀大生が増えています。

H29年度に佐賀大学生が留学した協定校

国名	大学名	人数
アメリカ	スリップリーロック大学	1
	パシフィック大学	1
フランス	オルレアン大学	2
ドイツ	ドレスデン工科大学	1
フィンランド	ユバスキュラ大学	3
リトアニア	ヴィタウタスマグヌス大学	2
オーストラリア	ラトローブ大学	1
タイ	カセサート大学	2
スリランカ	ペラデニヤ大学	1

国名	大学名	人数
韓国	釜山大学	1
	北京工業大学	1
中国	華東師範大学	1
	浙江科技学院	1
台湾	国立政治大学	1
	国立中興大学	1
	国立東華大学	1
合計		21

H29年8月より半年間 タイ・カセサート大学へ交換留学

佐賀から世界へ

松尾 咲弥佳 農学部応用生物科学科 3年
(福岡県立明善高等学校出身)



留学への道

海外の大学へ留学。それは、幼い頃からの憧れであり、目標でした。当時は、外の世界を見てみたいという漠然とした考えでした。しかし、中学、高校と英語を学んでいくなかで、世界公用語である英語を活用することで世界中のいろんな人と交流することができ、また、そういった経験の中で自分の視野を広げられるのではないかと考えるようになりました。この思いは英語を勉強すればするほど強くなり、いち早く留学したいと思いをかきました。そこで、大学入学後は、佐賀大学のISACという留学支援英語教育のクラスに入りました。このクラスには、入学前に選抜テストがあり、留学に興味のある学生が全学部から集まってきます。内容としては留学に必要な英語の4技能や他の国の文化、衣食住、宗教などといったもので、ISACで学んだ事は、大学内の国際交流、そして留学先での生活にとっても役にたちました。そのほか、様々な準備を早めに始めたおかげで、2年生の夏に留学をスタートすることができました。



留学生活

留学先には、タイのカセサート大学を選びました。カセサート大学のカセサートとは、タイ語で農業という意味で、その名前の通り、農業で有名な大学です。カセサート大学の農学部では、インターナショナルコースが開講されており、在学生のタイ人と留学生と一緒に授業を受けることができます。留学中は、このコースに参加し専門科目を履修しました。授業では、グループに分かれて授業内容をポスターやパワーポイントを用いて発表したり、国ごとに分かれてその国の農業について交流したりしました。また、実際にフィールドワークに出かける事もありました。私は学部2年生で留学したので、専門科目を大学であまり学んでない状態での留学になりました。ただでさえ英語で授業を理解する事は難しく、そのうえ授業では知らない専門用語が多く使われるので、授業後は、復習に追われました。テスト勉強や授業の復習は仲の良いインドネシアの友達としていました。

お互いに勉強を教えあったり、自分の国の農業やそれから発展して農業だけでなく国の現状や問題を語り合ったりすることを通して、自分の意見を英語で伝えたり説明したりすることは難しいことを実感しました。また、自分の知識不足のところも多くあり、多くの刺激をもらいました。苦労することも多かったですが、2年生という専門が決まってない時期に行ったからこそ、幅広く興味を持つことができ、多くのことを吸収することができたと思っています。授業やフィールドワーク、そして、国際課のイベントを通して、タイの農業はもちろん、文化にもふれることができました。留学後は、留学先の大学で取った単位を佐賀大学の専門科目の単位に全て交換することができました。



帰国後の生活

留学が終わり、帰国した私は、何かが違っていました。もっと、外の世界を見てみたい。もっと、国際交流がしたい。そんな思いが以前にも増して強くなったように感じます。現在、私はGlobal Leadersのメンバーの一員として、佐賀大学の国際交流に貢献しています。Global Leadersとは、国際交流のイベントのサポート、これから留学を考えている人達へ自らの経験を踏まえてのアドバイス、といったことを通じて、佐賀大学の学生と留学生とをつなぐ活動をする団体です。また、国際寮に、チューターとして留学生と一緒に生活することで、彼らに寄り添ったサポートをしています。留学生の追求心や学ぶ意欲、そしてなにより輝いた瞳。これが今の活力になっています。

留学は、大変な事もありましたが、その分得るものはたくさんありました。異文化を生きる人々との交流は、ただひたすらに楽しいものというだけでなく、日本という国、文化、習慣、さらには自分自身を客観的に見つめるためのいい機会となりました。そしてその中で、自分たちの当たり前と思っていることが必ずしも当たり前ではないということを改めて実感しました。例え国同士の仲が悪くても、言語、文化、習慣、価値観の違いをお互いに理解し尊重しあうことで分かり合えるはずだと感じています。

海外留学。はじめの一步は、とても勇気が必要でしたが、一度、外の世界に出てみると、また、飛び出たくなります。大学卒業後は、佐賀大学の大学院に進学し、研究留学することを考えています。佐賀大学の留学制度はとても充実していて、手厚い支援を受けることができます。国際交流に興味のあるみなさん、是非、佐賀大学と一緒に国際交流をしましょう。Global leaders や国際系のサークルが企画するイベントに参加することで、学内でも十分に楽しく国際交流ができます。国際交流を通して、新たな自分を見つけてみませんか？



トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム



「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」は、2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。2020年までの7年間で約1万人の高校生、大学生を「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」の派遣留学生として送り出す計画です。派遣留学生は支援企業と共にグローバル人材コミュニティを形成し、産業界を中心に社会で求められる人材、世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材へ育つことが期待されます。また、帰国後は海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリスト(伝道師)として日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています。

本学では、これまで23名の佐賀大学生が採択され、世界各国に留学しています。

また、2016年から佐賀県地域では「地域人材コース」による海外留学支援も行っています。

地域人材コース「世界とともに発展するSAGANグローバル人材育成事業」

さが地方創生人材育成・活用推進協議会(事務局:佐賀大学)では、佐賀県地域の企業からの寄附に加え、佐賀県及び文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクトからの支援により、海外留学と県内企業でのインターンシップを組み合わせた海外留学支援事業を新たに創設しました。佐賀県地域の企業等に就職する等、将来の佐賀県地域の発展に貢献することを希望する学生が対象です。

- 1) 県内のものづくり活性化のための国内外インターンシッププログラム
- 2) 唐津コスメティック構想の実現や県内農産品輸出促進・県内農業活性化のための国内外インターンシッププログラム
- 3) やきものを中心としたアートやアートプロジェクトによる地域振興のための国内外インターンシッププログラム
- 4) インバウンドが期待される、佐賀県が撮影誘致する映画・映像制作における国内外インターンシッププログラム
- 5) その他、佐賀県地域の活性化につながるグローバル課題解決型プログラム

佐賀大卒業生は海外での学びを今どのように活かしているのでしょうか?



双日株式会社勤務
十時 亜矢佳
(文化教育学部国際文化課程 平成30年3月卒)

高校生の時、大学に入ったら留学しようと思っ、アメリカの協定校スリッパリーロック大学での短期研修に参加し、その後、同じ大学に1年間の交換留学をする。その経験を活かし、帰国後はグローバルリーダーとして留学生と日本人学生の異文化交流の機会をつくり、キャンパスの国際化に貢献。大学には5年間在籍したが、多国籍の友人に恵まれ、色々なことに挑戦し、自分の希望する会社に就職することができた。



中国・清華大学大学院
化学系修士課程修了
新野 公介
(理工学部機能物質化学科 平成26年3月卒)

「現状を打破したい」というモヤモヤ感から、短期海外研修に参加。その後、1年間の北京での交換留学で中国語をマスターし、中国の名門大学院へ進学。中国でのSNSフォロワーは40万人。日中友好に貢献したい。



旭硝子株式会社勤務
中村 駿介
(工学系研究科循環物質化学専攻 平成30年3月卒)

学部2年時に軽い気持ちで参加したオークランドへの短期留学がきっかけとなり、修士課程1年時に英国イーストアングリア大学に研究留学。世界を舞台に活躍できる技術者を志し、グローバルに事業を展開している素材メーカーへ入社。多様なバックグラウンドの同僚と開発業務に従事。英語での会議、海外出張も頻繁にあり、留学経験が活かされる。



豪・アデレード大学大学院
生医学博士課程
家弓 紗矢香
(農学部生命機能科学科 平成27年3月卒)

学部3年生の春休みに大学の短期研修でオークランド大学に留学。現地の学生の姿を見て、海外の大学院への進学を考え始める。世界で活躍できる科学者を目指し、厳しいけれども充実した研究生生活を送っている。

